

## 授業概要 (シラバス)

■科目基本情報		専門学校日本ホテルスクール	
科目番号	MS503	分類	講義科目
授業科目名	カラーコーディネート	英文授業科目名	Color Coordination
年度	2023年度	年次	昼間部 1年 プライダル科
開講学期	通年	授業の方法	講義
単位数	2単位	年間授業時間数	時間28.8
科目区分	専門科目	授業コマ数	コマ24
担当教員名	古田 淳子	実務経験あり	
経歴	日本ホテルスクール 2001年～2011年プライダル科、ホテル科のカラーコーディネートを担当 プライダル関連(ヒルトン東京プライダルフェア、第一ホテルや幕張プリンスのプライダルセミナー、ひらまつプライダルスクール、タカミプライダルスクールのカラーコーディネートセミナー)、その他ファッション、ヘア、メイク、フラワー、インテリア、メガネなどのカラーセミナー		
■授業・科目情報			
学習目標	ホテル、プライダル業界における、カラーコーディネートの重要性、関連性に基づき、CUS色彩理論・パーソナルカラーの知識を身につけ、お客様にアドバイスできるスキルの習得を目標とする。色彩理論・配色テクニックなどを用いて、TPOに即したバランスの良いカラーコーディネートを提供できるスキルを身につける。(習)		
教科書	なし		
授業計画	回数	内容	
	1	授業紹介/オリエンテーション (カラーコーディネートとは、プライダルとの関連)、* 評価法と教材説明	
	2	色彩の基礎① 色のしくみ、有彩色と無彩色、色の三属性(色相)	
	3	色彩の基礎② 色の三属性(明度・彩度)	
	4	色彩の基礎③ 色の心理効果、感情効果	
	5	色彩の基礎④ 色の対比現象、同化現象	
	6	パーソナルカラー① 概要、アンダートーン、カラーカード分類	
	7	パーソナルカラー② 4シーズン「色」の特徴	
	8	パーソナルカラー③ 4シーズン「人」の特徴/セルフチェック	
	9	パーソナルカラー④ コンサルティングの要領、事前準備	
	10	Pコンサルティング実習①	
	11	Pコンサルティング実習② * 試験範囲、アンケート	
	12	前期試験	
	13	配色テクニック① イメージワード(4シーズン)	
	14	配色テクニック② 色相配色、アンダートーン配色	
	15	配色テクニック③ 色調配色	
	16	配色テクニック④ 多色配色(グラデーション、コントラスト、アクセント)	
	17	プライダル応用① 衣装の色(120色 ドレープ分類)	
	18	プライダル応用② 4シーズン別 衣装の素材、デザイン	
	19	プライダル応用③ アクセサリー、メイクとヘアカラー、ブーケカラー	
	20	プライダル応用④ 切り抜き分類練習(衣装、ブーケ)	
	21	イメージボード制作	
	22	イメージボード制作	
	23	プレゼンテーション、講評、まとめ * 試験範囲、アンケート	
	24	後期試験	
授業の進め方	写真や画像、プリントを用いた学習に加えて、体験実習やグループワーク、カラーカードを用いた配色演習等の体験で理解を深めていきます。		
試験の実施方法	前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点=50%(10ポイント) ②出席率 =50%(10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目	『テーブルコーディネート』		
参考書	パーソナルカラリスト検定対策3級テキスト 日本カラリスト協会 プリント(CUSシステム・パーソナルカラー・配色テクニック演習他)/カラーカード		
学生へのメッセージ	カラーコーディネートはウェディングの印象を決定づける要素のひとつになります。色彩学の基礎理論やパーソナルカラーのシステムを学ぶことで衣装やジュエリー、ブーケなどに活用することができます。沢山の色に触れながら知識と感性を磨き、お客様への提案力を身につけていきましょう。		